

# ぐんぐん広場

令和8年5月1日(金)  
北小学校 学力向上推進だより

## 「今日はお家でどんなことしたの？」親子の会話が学びのきっかけに

新緑が目には鮮やかな、気持ちの良い季節になりました。新しい環境での1ヶ月、お子さんなりに一生懸命がんばっている姿が見られる頃ではないでしょうか。

さて、学校では新しい教科書を使った授業が本格的に始まっています。ご家庭では、「宿題はやったかな?」「自分から机に向かってくれると安心なんだけど……」と、お子さんの学習の様子が気になることもあるかと思います。

家庭学習は、学校での学びを自分のものにするための大切な時間です。無理に「勉強させなきゃ!」と構えず、まずは小さな工夫から、お子さんと一緒に「お家での学び」を整えてみませんか?

お子様が「ちょっとやってみようかな」と思えるヒント



### 1. 集中しやすい「居場所」づくり

**整理整頓からスタート:**机の上が片付いていると、自然と気持ちが学習に向きやすくなります。

**準備をスムーズに:**教科書や筆記用具をサッと取り出せるようにしておくだけで、取りかかるまでのハードルが下がります。

### 2. 「無理のないリズム」を味方にする

**決まった時間に始める:**毎日同じタイミングで机に向かうと、生活の一部として自然に定着していきます。

**「短時間」を積み重ねる:**最初は15分~20分など、お子様の集中力が続く短い時間から大丈夫です。

**タイマーでメリハリを:**「〇分だけ集中しよう!」と目標を決めることで、ゲーム感覚で取り組めるようになります。

### 3. 考える楽しさを共有する

**「なぜ?」に寄り添う:**「どうしてこうなるんだろう?」という疑問は、学びが深まっている証拠です。一緒に調べたり考えたりする時間を大切にしてみましょう。

**間違いは「チャンス」:**間違えたところは、新しい発見の宝庫です。どこでつまづいたかを一緒に理解することで、次への自信に繋がります。

## 保護者の皆様へ:一番の応援団として

私たちは、お家の方の温かな一言がお子さんにとって最大のパワーになると信じています。

**「がんばっているね」の声かけ:**肯定的な言葉は、お子さんのやる気を引き出す一番の栄養です。

**「教えて?」と聞いてみる:**「今日はどんなことを勉強したの?」と興味を持って尋ねることで、お子さんも教える喜びを感じ、理解がより深まります。

**一緒に悩む姿勢:**難しい問題にぶつかった時は、すぐに答えを教えるのではなく、「どこが難しいかな?」

「一緒に考えてみよう」と、歩幅を合わせる姿勢を大切にしてください。

